

速報★

「ごみ減量」「資源の分別」

市は、昨年6月からごみの収集方法を見直し、地区ごとにごみの量や分別の状況などを把握しています。各地区の状況や取り組みなどについて、概要をお知らせします。**【問】**資源循環推進課 ☎626-3733 **【広報ID】** 1016238

1 地区ごとの状況

盛岡地域の23コミュニティ推進地区のほか、都南地域と玉山地域はそれぞれを1地区としてお知らせします。市は、昨年3月に「一般廃棄物処理基本計画」と「ごみ減量化行動計画」を改定し、33年度までに家庭ごみ排出量を1人1日当たり25%を減量し、473%までとすることを目標としています。

33年度までに全地区で★3つになるのが目標です！

500%ペットボトル飲料の重さが約500%



<表の見方>
(仁王地区を例に解説)

①家庭ごみ排出量 (1人1日当たり換算。昨年6月～9月の実績)	A: 473%以下 (目標値) B: 473%超過、498%以下 C: 498%超過、523%以下 D: 523%超過
②可燃ごみに含まれていた資源の割合※1 (本年度調査結果)	A: 21%以下 (目標値) B: 21%超過、26%以下 C: 26%超過
③おおむね分別ができていないごみ袋※2の割合 (本年度調査結果)	A: 50%以上 (目標値) B: 50%未満25%以上 C: 25%未満

総合評価
3項目のうち、A評価1個につき、★が1個

「A～D」はごみ減量化行動計画目標に対する達成の度合い。各項目ともAになれば目標達成

※1 可燃ごみに含まれていた資源の割合
集積場所からサンプルとして収集したごみを分別区分ごとに分け直し、区分ごとの重さの割合を出す「組成分析調査」で、資源が占めた割合

※2 おおむね分別ができていないごみ袋
集積場所に出された可燃ごみの袋を、資源が含まれている度合い「良い」「どちらともいえない」「悪い」で分類。「良い」と「どちらともいえない」を合わせて「おおむね分別ができていないごみ袋」としています



桜城地区 ①522.3% C ② 23.2% B ③ 40.0% B ☆☆☆	上田地区 ①505.0% C ② 37.3% C ③ 24.0% C ☆☆☆	緑が丘地区 ①544.1% D ② 24.1% B ③ 38.0% B ☆☆☆	松園地区 ①635.5% D ② 23.6% B ③ 31.0% B ☆☆☆	青山地区 ①574.7% D ② 23.0% B ③ 33.0% B ☆☆☆	みたけ地区 ①555.5% D ② 22.4% B ③ 37.0% B ☆☆☆
北厨川地区 ①489.2% B ② 22.3% B ③ 59.4% A ☆☆☆	西厨川地区 ①591.2% D ② 25.3% B ③ 31.1% B ☆☆☆	土淵地区 ①526.5% D ② 21.6% B ③ 35.6% B ☆☆☆	東厨川地区 ①558.9% D ② 30.8% C ③ 24.0% C ☆☆☆	城南地区 ①605.2% D ② 31.1% C ③ 25.0% B ☆☆☆	山岸地区 ①611.1% D ② 25.6% B ③ 43.0% B ☆☆☆
加賀野地区 ①554.6% D ② 21.7% B ③ 54.0% A ☆☆☆	杜陵地区 ①573.5% D ② 26.4% C ③ 31.0% B ☆☆☆	大慈寺地区 ①557.8% D ② 26.6% C ③ 22.0% C ☆☆☆	上米内地区 ①583.0% D ② 26.4% C ③ 35.0% B ☆☆☆	仙北地区 ①571.9% D ② 25.7% B ③ 28.0% B ☆☆☆	本宮地区 ①514.5% C ② 26.6% C ③ 29.0% B ☆☆☆
太田地区 ①632.9% D ② 26.2% C ③ 38.0% B ☆☆☆	つなぎ地区 ①538.9% D ② 23.3% B ③ 27.0% B ☆☆☆	中野地区 ①546.0% D ② 21.3% B ③ 28.0% B ☆☆☆	築川地区 ①418.4% A ② 28.8% C ③ 32.0% B ☆☆☆	都南地域 ①480.4% B ② 35.9% C ③ 26.0% B ☆☆☆	玉山地域 ①544.0% D ② 24.5% B ③ 58.0% A ☆☆☆

掲載はコミュニティ推進地区の地区番号順

2 地区の状況から考えられること

- ①ごみの量が多くても、分別はおおむねきちんとしていて、発生量を抑えることが今後の課題になります。
- ②分別ができていない地区は、分別に力を入れることで、ごみの減量が期待できます。
- ③今回の家庭ごみの排出量の評価は、6月～9月の実績を基にしています。ごみの量は春と夏に多い傾向があるので、秋・冬を含めた1年分の量で計算すれば、もっと良い結果になる可能性があります。

実績の集計や分析を今後も進め、お知らせしていきます

3 分別ができていない地区の取り組みを紹介

どんな取り組みがA評価につながったと思いますか？

正しく分別されていないごみが出された集積場所を使っている各世帯に、分別のチラシを配布しています。収集カレンダーを防水加工して、集積場所に貼っている町内会もありますよ。



仁王地区きれいなまち推進員 加藤富也さん (70) =本町通二=



加賀野地区きれいなまち推進員 中村榮孝さん (74) =加賀野一=

4 今後の取り組みを一緒に考えましょう

「ごみ減量」と「資源再利用」を進め、目標を達成するために「効果的な取り組み」とは何でしょうか。地区ごとに人口や年齢構成などは異なるため、「効果的な取り組み」もそれぞれ。会議や行事などの場を利用し、「地区ならではの取り組み」を一緒に考えましょう。市も、各地区で開く懇談会や分別説明会などで、一緒に考えます。

「意識」と「工夫」でごみを減らそう

市きれいなまち推進協議会会長 北厨川地区きれいなまち推進員 吉田将次さん (81) =厨川一=



北厨川地区は平成24年から約2年間、ごみ減量のモデル地区として市の指定を受けました。ごみ出しの立会い指導や、地区内の全町内会・自治会で懇談会を行うなど積極的に取り組んだため、プラスチック製容器包装や古紙の分別が各世帯に定着し、今回の評価につながったと考えています。皆さんも自分の住む地区の状況を知ること、ごみ減量へやる気がアップしたり、今後やるべきことを考える材料になったのではないのでしょうか。今後も行政と協力し、一歩ずつ前へ踏み出しましょう。

これからは、プラスチック製容器包装の分別徹底がポイントだと思います。収集量は増加傾向にあり、「プラは資源」という認識は浸透してきていると感じる一方で、お菓子の袋やレジ袋などが可燃ごみにまだたくさん混じっているのも事実。私たちきれいなまち推進員の願いは、この盛岡の美しさを次世代へ引き継ぐこと。436人(1月末現在)の推進員は、町内会・自治会と協力して活動していますが、住民一人一人の意識がとても大切だと感じています。日常のちょっとした工夫でできる分別もあります。ごみ減量と資源の分別は他人事ではありません。ぜひ自分事として取り組みましょう。



児童館の分別教室で子どもたちに資源の再利用の重要性を伝える吉田さん(中央)

爆発事故発生！スプレー缶は正しく廃棄を！

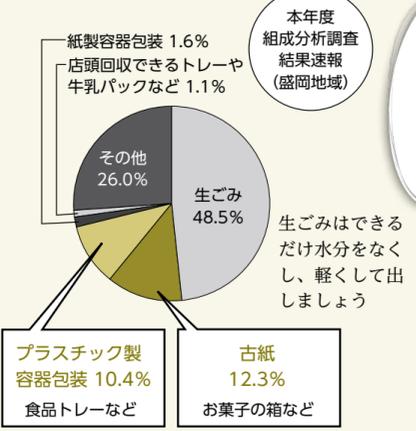
誤った方法で出されたスプレー缶が原因となり、ごみ処理施設や収集車でガス爆発事故が発生しています。スプレー缶には可燃性ガスが含まれるため、正しく廃棄しないと人命に関わることも。きちんと処分するようご協力ください。

★スプレー缶の正しい出し方

- ▶盛岡地域と都南地域
中身を使い切ってから、風通しの良い所で缶に穴を開け、他の資源とは別の袋に入れて出す
- ▶玉山地域
中身を使い切ってから、透明か半透明の袋に入れて、ごみ集積場所の「回収ボックス」に出す

「プラ」と「古紙」分別を家庭でしっかりと

可燃ごみに混ざっていた資源の中で、最も多いのは「プラスチック製容器包装(プラ)」と「古紙」でした。これらは日常生活で多く出る「資源」です。しっかり分別してリサイクルしましょう！



ここをきちんと分別できれば、減量目標は達成できます！

めぐるちゃん式分別スタイルのススメ

ラクして上手にまとめて

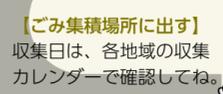
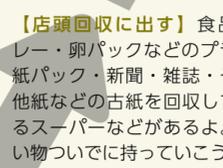


- 【プラの出し方】**
- ★食品が入っていたプラは、中の物がなくなる程度に水ですすいでね。スナック菓子の油分は取らなくてOK！
 - ★洗剤が入っていたプラは、中身を使い切ればそのまま出してもOK！
 - ★弁当容器の値札シールは剥がさなくてOK！
 - ★食べ終わった納豆容器も、水に漬けておくとねばねばが取れてプラに出せるよ！ぬれた物は乾いてから出してね。



- 【古紙の出し方】**
- ★ダンボールと新聞、雑誌、その他紙(雑がみ)は、種類ごとにまとめよう！
 - ★雑誌とその他紙(雑がみ)は、ホチキス止めのまま出せるよ。
 - ★レシートと写真は、可燃ごみに出してね。

リサイクルへ



新年度の収集カレンダーは、3月中旬に各戸へ配布します！

★分別教室いかがですか

子ども向けには紙芝居を使って、大人向けにはパネルなどを使って、ごみ減量と資源分別の大切さについて説明します。地区の行事や子ども会活動などの際に、ぜひお呼びください。

- 【時間】30～60分程度 ※要望に応じます
- 【費用】無料
- 【問】資源循環推進課

